

コンパクトクールキット 取扱説明書

(シリンダーヘッド下マウント)

適応車種	モンキー・ゴリラ モンキー BAJA	対象クラッチカバー	◎弊社製スペシャルクラッチカバー ダイカスト製(※プライマリー含む)装着車
		適応条件	◎旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド装着車 ◎スーパーヘッド 4V+R 装着車
		同時装着パーツ	◎弊社製 10 インチアルミホイール装着車

◎旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド	
◎スリムラインホース	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0289 (4 フィン) 07-07-0288 (3 フィン)

◎スーパーヘッド 4V+R	
◎スリムラインホース	
対象クラッチカバーオイル取り出し口	
オイルクーラー本体固定場所 ヘッド下マウント	
製品番号	07-07-0283 (3 フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。

◎オイル量は通常規定オイル量に 4 フィン：約 60cc / 3 フィン：約 40cc 追加して下さい。

◎当製品を使用すると、ノーマルマフラー及びアップマフラーが使用出来なくなります。

◎このキットは取り付けステーが専用の為、他のシリンダーヘッドには取り付け出来ません。

◎マフラーのエキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、油分を拭き取って下さい。

◎ノーマルフロントフォークには使用出来ません。

◎付属のオイルホールプラグ、又は別売りのサーモユニットを必ず装着して下さい。

何も装着しない状態ではオイルが循環しません。注意事項を必ず最終ページをご確認下さい。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンポアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。

コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。

付属のオイルクーラーステーを使用し、シリンダーヘッド下マウントでオイルクーラー本体を固定します。

オイルクーラーへのオイル取り出しは、弊社製スペシャルクラッチカバー / ダイカスト製(※プライマリー含む)から取り出します。

⚠ 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

⚠ 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかったら、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

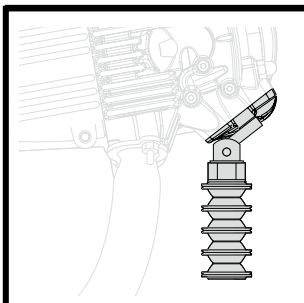
製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

オイルクーラー取付け場所：シリンダーヘッド下マウント

製品名 / キット品番

コンパクトクーリングキット (スリムラインホース)
旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパー
ヘッド装着車
(SP 武川製スペシャルクラッチカバー
ダイカスト製 (※プライマリー含む)
4フィン 07-07-0289 3フィン 07-07-0288

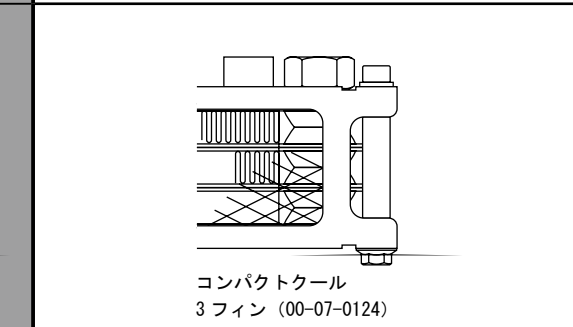
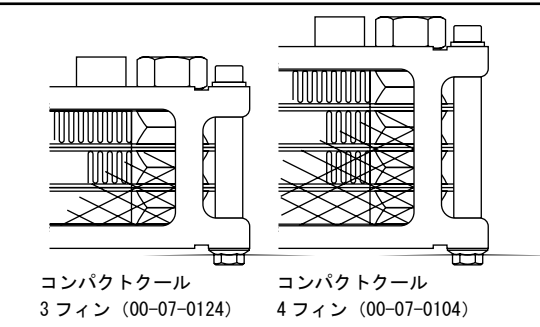
コンパクトクーリングキット (スリムラインホース)
スーパーヘッド 4V+R 装着車
(SP 武川製スペシャルクラッチカバー
ダイカスト製 (※プライマリー含む)
3フィン 07-07-0283



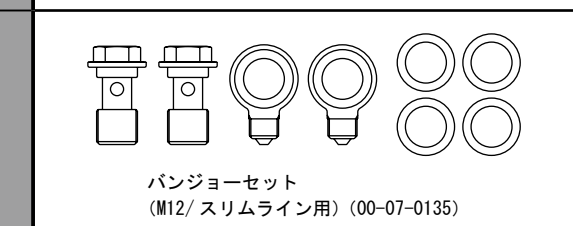
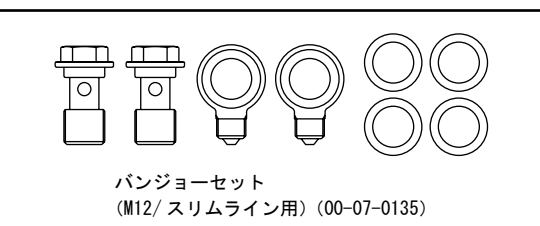
オイル取り出し口



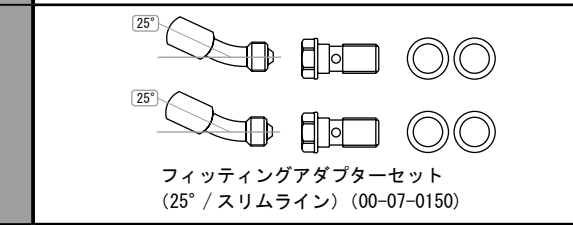
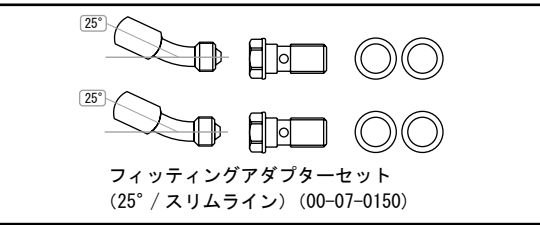
オイルクーラー本体



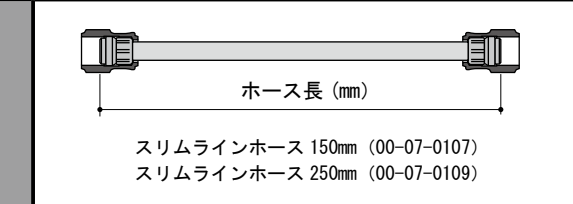
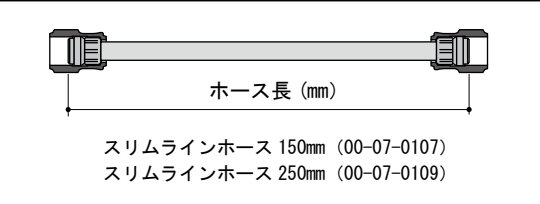
バンジョー
フィッティング
(オイルクーラー側)



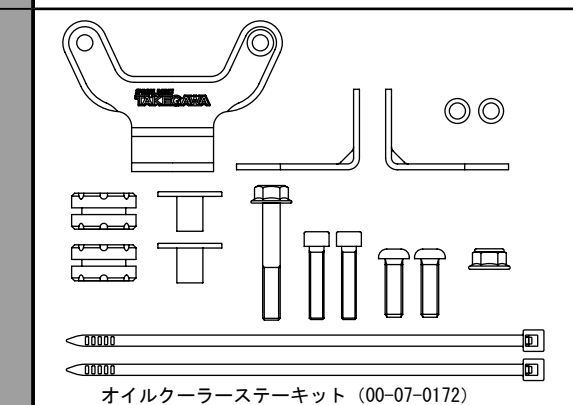
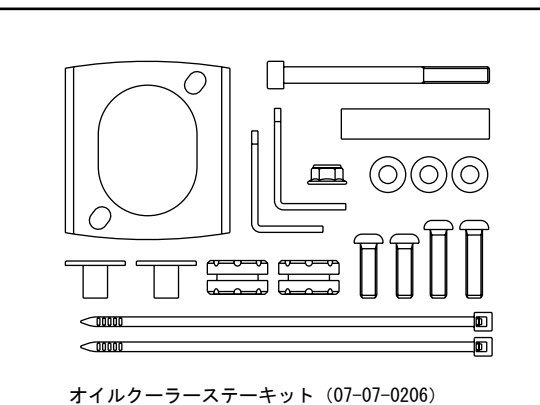
バンジョー
フィッティング
(オイル取り出し口側)



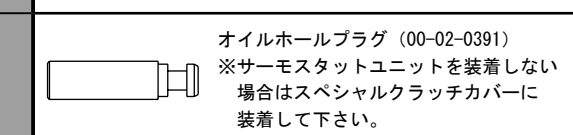
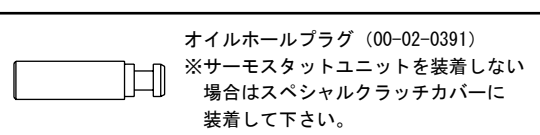
ホース (ホース長)

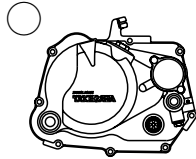


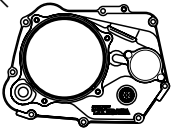
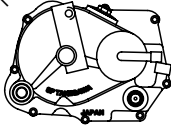
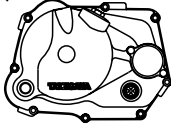
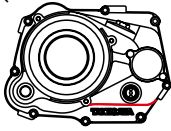
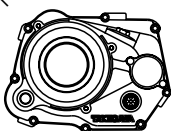
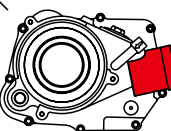
オイルクーラー
ステーセット
(シリンダーヘッド下
マウント)



オイルホールプラグ



オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧	
クラッチカバー名	クラッチカバー形状
現行品 スペシャルクラッチ カバー (ダイカスト製) ※プライマリー含む	

オイルクーラーユニットの 取付け可能なクラッチカバー一覧	
クラッチカバー名	クラッチカバー形状
現行品 スペシャルクラッチ カバー TYPE-R (WET/DRY)	× 
スペシャルクラッチ カバー (砂型鑄造製) (オイルフィルター無し)	× 
スペシャルクラッチ カバー TYPE-R (WET/DRY)	× 
旧タイプ 乾式クラッチカバー (2型 /ver. 1)	× 
乾式クラッチカバー (2型 /ver. 2)	× 
乾式クラッチカバー (2型 /ver. 1)	× 

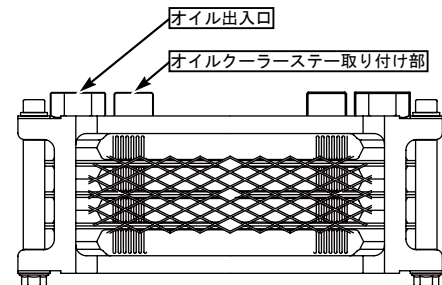
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント
旧スーパーヘッド / 旧ツインスパークスーパーヘッド 07-07-0288 3フィン 07-07-0289 4フィン

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバーダイカスト製 (※プライマリー含む)

■オイルクーラー本体オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部とオイル出入口が上になっているか確認します。(弊社出荷時は下図のようになってます)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図Aの順(シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルト)で仮止めします。

▲注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。(下図B) この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。
溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

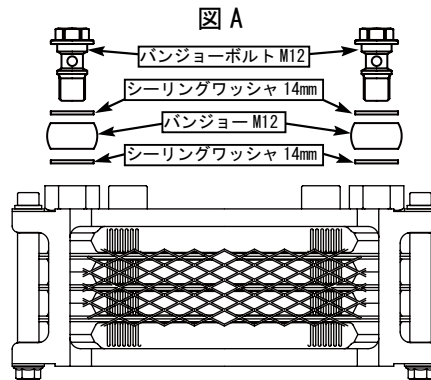
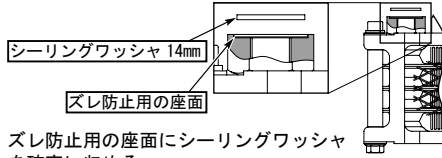


図 B (座面断面図)



ズレ防止用の座面にシーリングワッシャを確実に収める

■バンジョーボルトのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り回し確定後に規定トルク締めを行います。
バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。

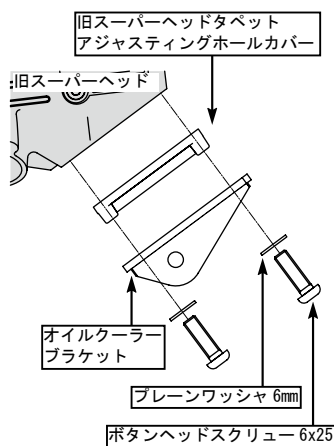
▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)

■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

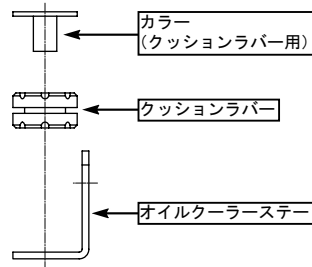
■旧スーパーヘッドエキゾースト側のタペットアジャスティングホールカバーを取り外します。この際オイルが漏れるので、必ず下にオイル受けを用意して作業を行って下さい。
ソケットキャップスクリュー 2ヶ所を外し、タペットアジャスティングホールカバーを取り外します。

■下図のようにボタンヘッドスクリュー 6x25、ブレンワッシャ 6mm を使用し、オイルクーラーブラケットを装着します。

▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)

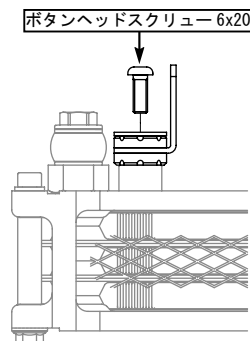


■オイルクーラーステーにクッションラバーを取り付け、カラーを差し込みます。



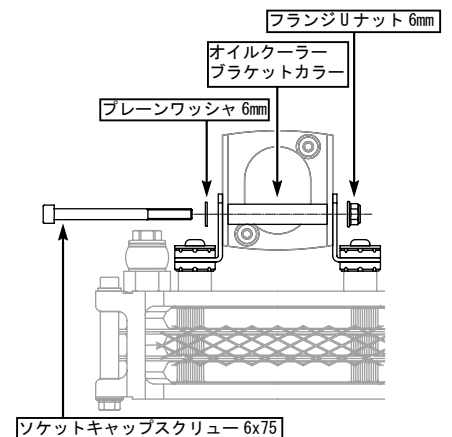
■ボタンヘッドスクリュー 6x20 を使用し、オイルクーラーステーを弊社製オイルクーラー本体(コンパクトクール)に取り付けます。

▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドスクリュー
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



■オイルクーラーブラケットとオイルクーラーステーを固定します。

オイルクーラーステーがオイルクーラーブラケットの外側になるように、オイルクーラーブラケットの内側にオイルクーラーブラケットカラーを入れます。ブレンワッシャ 6mm を通したソケットキャップスクリュー 6x75 を差し込み、フランジUナット 6mm で締め付けます。



▲注意: 必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク: 12N・m (1.2kgf・m)

※締め付け後必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうかを確認して下さい。

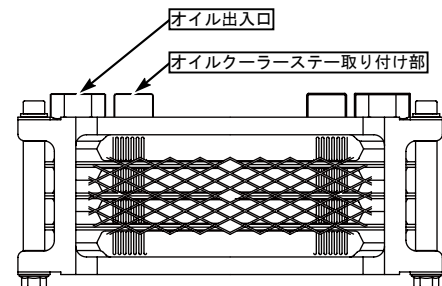
■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント スーパーヘッド 4V+R 07-07-0283 3フィン

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバーダイカスト製 (※プライマリー含む)

■オイルクーラー本体オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部とオイル出入口が上になっているか確認します。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A の順 (シーリングワッシャ、バンジョー、シーリングワッシャ、バンジョーボルト) で仮止めします。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があります。(下図 B) この溝にシーリングワッシャを確実に収めて下さい。溝に収めていない状態で、組み付けるとオイル漏れの原因となります。

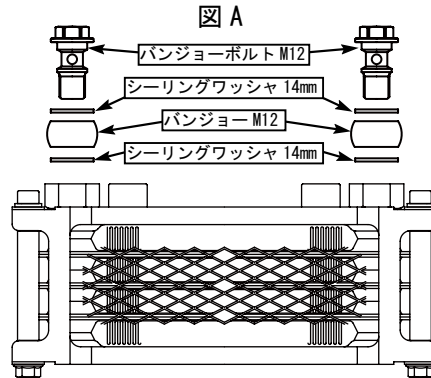
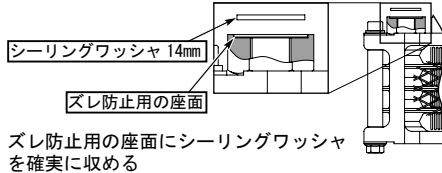


図 B (座面断面図)



ズレ防止用の座面にシーリングワッシャを確実に収める

■バンジョーボルトのトルク締めについて
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの取り直し確定後に規定トルク締めを行います。バンジョーボルト締め付け時は、オイルクーラーヘッダー部分に必ずスパナ等を掛けて固定して下さい。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)

■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

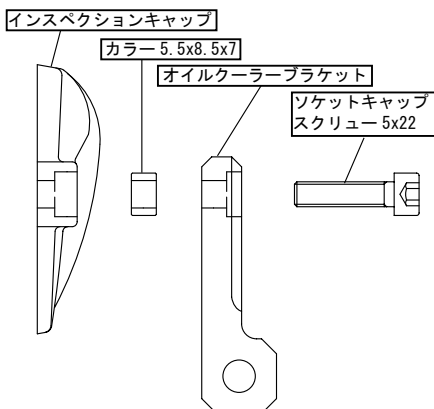
■平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定させます。

■オイルの受け皿を用意し、シリンダーヘッドの下側のインスペクションキャップのソケットキャップスクリュー 2本を外し、インスペクションキャップを取り外します。

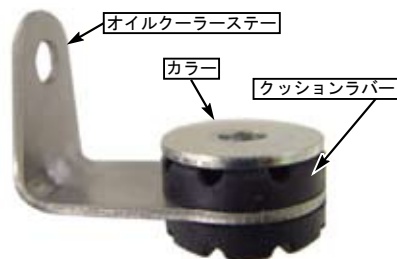
※インスペクションキャップを取り外すとエンジンオイルが出てきますので注意して下さい。

■インスペクションキャップにカラー 5.5x8.5x7、オイルクーラーブラケットの順にセットし、キット付属のソケットキャップスクリュー 5x22 を締め付けます。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク: 6N・m (0.6kgf・m)



■オイルクーラーステーにクッションラバーを取り付け、クッションラバーにカラーを取り付けます。※ステーは L 字状態で、カラーを上側から取り付けて下さい。



■ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20 を用いてコンパクトクール (以下オイルクーラー) にオイルクーラーステーを取り付け、締め付けます。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。
ボタンヘッドソケットスクリュー
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)

■オイルクーラーブラケットをオイルクーラーステーで挟み、フランジボルト 6x40 を通し、フランジナット 6mm で締め付けます。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



■オイルホースを取り直しオイルクーラーと接続します。(各専用のキットの取扱説明書に従い作業を行って下さい。)

※締め付け後、必ずフロントフォークがフルストローク時オイルクーラーに接触しないかどうか確認して下さい。



■オイルクーラー、オイルクーラーユニットそれぞれのバンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。※バンジョーボルト M12x1.0 の締め付けは、オイルクーラーヘッダー (6 角部分) に必ずスパナ等を掛けた状態で行って下さい。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト M12x1.0
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)

■エンジンオイルを 40cc 程度追加し、エンジンを始動します。

各部からのオイル漏れの有無を確認し、エンジンを止め約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にある事を確認し、少ない場合は補充して下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 07-07-0288 3フィン 07-07-0289 4フィン 07-07-0283 3フィン 共通組付け事項

対象クラッチカバー SP 武川製スペシャルクラッチカバーダイカスト製 (※プライマリー含む)

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

■クラッチカバー下にあるオイルプラグ 2 個を取り外します。

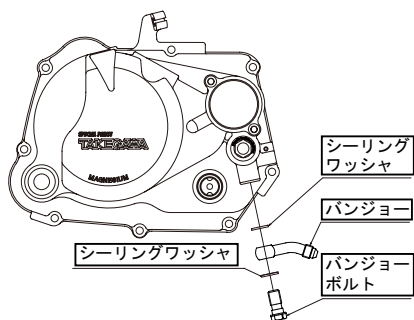
クラッチカバー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト 2 本を取り外します。
※ボルトを取り外した際、オイルフィルター内のオイルが漏れ出す可能性があります。

■クラッチカバーにバンジョー / フィッティングの組み付け

※を参照しバンジョー M10 25° をクラッチカバーにシーリングワッシャ 10mm で挟みバンジョーボルト M10 を締め込みます。

※バンジョー M10 25° 下側に向け組み付けます。

※ホース等の取り回しを決めた後にバンジョーボルトを規定トルクで締め付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M10
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

▲注意 シーリングワッシャは、分解毎に必ず新品に注意 交換して下さい。(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。

■クラッチカバー側

オイルホース 150mm をクラッチカバー外側に取り付け、オイルホース 250mm をクラッチカバー内側に取り付け締め付けます。

■オイルクーラー側

オイルホース 150mm をオイルクーラー右側に、オイルホース 250mm を左側に取り付け、締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

スリムラインホース (フィッティング)
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョー M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M12
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

■各部チェックとマフラーを取り外し作業した場合は、マフラーのマニュアルを参照し、組み付けして下さい。

※エキゾーストパイプにオイルが付着した場合は、拭き取って下さい。

必ず右記の■オイルホールプラグ取り付け作業を行って下さい。

必ず 6 ページの注記を確認して下さい。

■オイル量の調整とエンジン始動

4 フィンは 60cc、3 フィンは 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。

各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

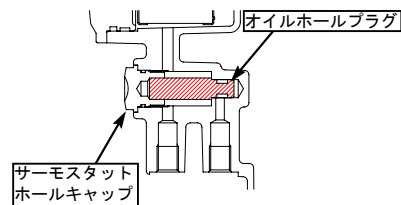
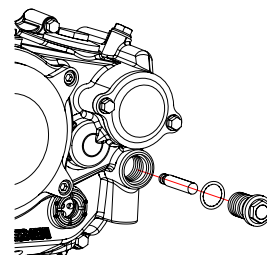
■オイルホールプラグ取り付け

■スペシャルクラッチカバーにサーモユニットを取り付けない場合

サーモスタットホールキャップを取り外し、付属のオイルホールプラグをオイルホールに差し込みます。

サーモスタットホールキャップの O リングにエンジンオイルを塗布し、ホールキャップを規定トルクで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ホールキャップ
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



オイルホールプラグ及びサーモユニットについての注意点

▲注意：クラッチカバーからクーラーホースを外し、プラグボルトを取り付けた場合は、(購入時の状態) 必ずオイルホールプラグ若しくはサーモユニットを取り外して下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。

▲注意：スペシャルクラッチカバーが組み付けられている車両で、ヘッドサイドカバー取り出し口にオイルホースを取り付ける場合は、スペシャルクラッチカバーにはオイルホールプラグ及びサーモユニットを取り付けしないで下さい。
何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。